

具体的な研修の取組について

○共通理解を図る・・・園内研修主任会の開催

園内研修に対する考え方や共通テーマなどを各園で共通理解するため、研修主任会を開催しました。

そこでは研修の目的である「質の高い保育」を目指すため、日々の保育を振り返り、次の実践に生かすことができるよう、事例による検討を中心に進めることや、写真等を活用し「可視化」できるようにすることなどを確認したり、各園での研修の進捗状況や課題等の情報交換をしたりしました。外部の有識者の先生にも参加していただき、各園の状況や課題に対してご指導をいただきました。

○研修（事例検討）の取組、進め方・・・写真（事例）を基にした話し合い

研修（事例検討）は、おおよそ以下のような形で進められました。

◎事前準備

- ・事例として取り上げる写真が貼られた模造紙、写真と共に遊びの様子等が書かれた研修用シートが用意されていました。写真には遊びの様子や幼児の表情、仕草等が分かるものがカラーで数枚用意されました。幼児の言葉を基に、事例にタイトルを付けている園もありました。

① 前回の事例について報告

- ・前回の研修で取り上げた事例について、その後の遊びの様子や担任の気付き、今後の方針等が、提案者から報告されました。事例検討での話し合いがどのように保育に生かされているのか、職員で共有することができるようにしている園もありました。

② 事例についての説明

- ・提案者が事例について、個々の幼児の名前を挙げながら遊びの様子や流れ、保育者の意図等について説明をしました。写真から幼児の思いを探ることを優先し、説明はできるだけ簡潔にする園もありました。

③ 考えを付箋に書く

- ・各園の主題に沿って探っていきたいこと、明らかにしたいこと等が観点として設定され、観点に沿って各参加者が付箋に記入しました。各園の主な観点としては、「幼児の心のつぶやき」「幼児の思い」「支援」「他者との関り」「その子の良さや特徴」等がありました。観点ごとに色を分けた付箋を使用する園もありました。付箋に記入することにより、自分の考えが出しやすくなるようでした。また、幼児の姿がよく分かる写真が提示されていることにより、表情や視線等の細かいところに着目して考えることもできるようでした。

④ 話し合う

- ・参加者が各自でどのように考えたかを説明しながら模造紙に付箋を貼り、その付箋を基に話し合いました。その中で出てきたキーワードを記入したり、考えをグルーピングして関連付けたりするなど、幼児の育ち（学び）を整理、可視化しました。可視化の手立ての一つとして、環境（人的・物的、空間的、時間的）の工夫が見られた時や新しい取組が見られた時などシールを活用する園もあり、話し合いの内容が後から見ても分かりやすくなるようにまとめられていました。また、話し合いの中で、提案者から課題として挙げられていたことが、参加者の経験、様々な見方や考え方を通して解決されることもありました。話し合うことは、事例の提案者だけでなく、他の参加者も自身の保育を振り返ったり、新たな気付きが生まれたりして、幼児理解を深めることにつながっているようでした。

⑤ まとめ

- ・司会者が、話し合われたことをまとめました。外部の有識者の先生から、講評もいただきました。